

# まるもり 議会だより

Miyagi Prefecture  
Marumori Town Assembly  
News

第276号



2026. AUG  
令和8年8月1日

発行 宮城県丸森町議会  
編集 議会広報常任委員会



七夕は家族みんなで星に願いを

(表紙のことば…16ページ)

## 6月議会

|                               |       |
|-------------------------------|-------|
| 議会懇談会を開催しました .....            | 2ページ  |
| 新たな拠点 指定管理者決まる .....          | 4ページ  |
| <b>一般質問</b> 7人の議員が町政を問う ..... | 6ページ  |
| 議会の要望に町長が回答しました .....         | 14ページ |



丸森町公式キャラクター  
ねこがみとうぐいすP

# 議会懇談会

今回は、令和8年5月27日から29日の3日間、各まちづくりセンターと和田コミュニティセンターで開催しました。

## 議会懇談会を開催

議会懇談会は、開かれた議会及び議会活性化の一環として、議会の報告と町民の皆様との意見交換を行う大切な場として開催しています。

今回は令和8年度の町の予算の概要、議会から町に

提出した予算に関する要望事項についての説明や議会改革等調査特別委員会の検討経過の報告を行い、意見交換等を行いました。

懇談会で出された意見要望は、議会の各常任委員会において対応を検討し、議会だよりや各地区の広報紙の紙面をお借りし、対応状況をお知らせいたします。

## 主な意見・要望

### 議会に対する意見要望

#### 【議会懇談会】

現在の議会懇談会の開催の仕方では、出席しにくい方も多い。開催日時を見直し、参加人数が増えるように改善すべきでないか。

また、報告は議会だよりで見ているので説明を短くして住民からの意見要望を聞く機会にしてほしい。

#### 【議員定数】

価値観の多様化や開かれた議会を目的とするときに、議員を減らすのは矛盾してないか。減らすべきではないのではないか。

定数削減に賛成。議会は今後少数精鋭に。一方で住民自治のために町民も声をあげていく必要がある。

議会改革は町民の意識も問われていると感じる。

#### 【議員報酬】

議員は地域の要望を聞く大変な仕事だと感じるが、自分が議員になれるかといえば報酬が25万円では足りない。

生活のためにも30万円くらいまで上げていいと感じる。

上げる必要はない。議員たちは報酬に見合った仕事をしていると胸に手をあてていえるのか。

## 議会懇談会出席者状況

| 開催日      | 地区 (人数)    |
|----------|------------|
| 5月27日(水) | 丸 森 (17人)  |
|          | 筆 甫 (10人)  |
|          | 耕 野 (22人)  |
| 5月28日(木) | 金 山 (13人)  |
|          | 館矢間 (22人)  |
|          | 和 田 (9人)   |
| 5月29日(金) | 大 内 (6人)   |
|          | 小 斎 (19人)  |
|          | 大 張 (34人)  |
| 出席者総数    | 3日間 合計152人 |

## 町政一般に対する意見要望

### 【町民広場の整備】

予算が大きい、費用対効果をどうみているのか。

猛暑が続く、夏場は公園が使えない。日陰やミストなどの熱中症対策は考えているか。

### 【オルレコース】

宮城オルレ丸森コースはどこを通るコースなのか。コースの草刈りの回数を増やしたり、トイレを洋式に改修する必要があるのではないか。また、クマ出没に対し安全面は担保できるのか。

### 【ゼロカーボンシティ】

ゼロカーボンシティを目指すところがあるが、どのような施策で目指そうとしているのか。また、町民に何を求めているのか。

### 【MIZBEESテーション】

目標集客人数を60万人と掲げているが、1日当たり1000人以上となる。集客の目玉になるものはあるのか。また、観光と防災の両輪で構想が進んでいると聞いているが、どのように利用していくのか。



金山まちづくりセンター



小斎地区  
天野 理恵さん

私が気になっていた道路にはみ出した木の管理の他にも意見がたくさん出ました。ふるさと納税の返礼品がわかると知人に勧めやすいと思います。



小斎地区  
目黒 洋子さん

## 議会懇談会インタビュー

地域のひとと議員との活発な意見交換で勉強になりました。中学生の部活動は時間短縮で十分な練習ができます。部活動と勉強が両立できる環境を整えてほしいです。



和田コミュニティセンター

# 新たな拠点

# 指定管理者決まる

## 6月議会のあらまし

定例会は6月10日から12日まで開催しました。

### 主な議決内容

#### ◆報告

5件

(二般会計繰越明許費 ※繰越計算書ほか)

#### ◆承認

4件

(町税条例の一部を改正する条例ほか)

#### ◆農業委員会の委員選任の同意

11件

#### ◆条例の一部改正

1件

(選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正)

#### ◆財産の取得

2件

#### ◆指定管理者の指定

2件

#### ◆工事請負変更契約の締結

3件

#### ◆一般会計補正予算ほか4会計の補正予算

審議の結果、町長提案の議案等は、すべて原案どおり可決しました。一般質問は7人の議員が行い、自らの考えを交え町長や教育長と活発な議論を行いました。

※「繰越明許費」とは  
年度内に支出の完了しない経費を、議会の議決を経て翌年度に繰り越して使用できる予算のこと。

議決結果の一覧はホームページに掲載しています。



## 財産の取得

### タブレット端末を購入 2367万円

小中学校の児童生徒及び教員が使用しているタブレット端末については、耐用年数に達していることから、昨年度より更新を行ってきました。今年度は児童生徒用268台を購入することについて承認したものです。

今回の購入により、合計763台の更新が完了となります。



## 指定管理者の指定

### 丸森町耕野地域振興センター(旧耕野小学校)指定する団体

耕野振興会  
会長 谷津邦彦  
指定の期間  
令和8年7月1日から  
令和10年3月31日まで

### 丸森町MIZBEステーション

#### 指定する団体

IGURYOKKA\*Steve PROJECT  
代表 株式会社伊具緑化  
代表取締役 阿部秀一  
指定の期間  
令和9年4月1日から  
令和14年3月31日まで

### 丸森町議会七十年史編さん特別委員会報告

令和5年第10回丸森町議会定例会において設置された本委員会の編さん事務が終了し、委員長から報告がありました。

本史は五十年史の続編として平成17年から令和6年12月議会までの20年間分がまとめられています。

70年を迎えた丸森町議会は、今後も町民の皆様や町の課題解決に向けて、議員一丸となって取り組んでまいります。



## 請願審査の結果

### 選択的夫婦別姓制度の法制化を求める請願書は「不採択」

民法750条は婚姻によって夫婦が同姓になることを規定しており、婚姻により氏(うじ)の変更を余儀なくされるため、人権侵害が生じていることから、選択的夫婦別姓制度の法制化を行うよう国に求めることについて、意見書の提出を求める請願書が、仙台弁護士会から提出されました。

総務民生常任委員会に付託して審査を行った結果、

制度の導入は婚姻制度や家族の在り方と関係する重要な問題であり、具体的な制度の在り方に関し更なる検討を進めることとされていること、制度の法制化は国会における議論のうえ判断されるもので、議会の権限に属する事項ではないこと、本請願からは町民の意見は見えてこないことから、現

時点で意見書を提出する状況ではないと判断し、請願

は不採択すべきものとの委員長報告がありました。委員長報告に対し、夫婦別姓は多様な価値観を尊重する社会に向け、地方から声を上げることの意義があり、採択すべきとの少数意見の報告がありました。

討論に引き続き、採決を行った結果、賛成少数により本請願は「不採択」と決定しました。なお、討論の概要は以下のとおりです。

### 請願採択に賛成討論

#### 八巻 眞由 議員

### 国に委ねる姿勢は不適切

国の判断事項で議会の権限外という不採択理由は、地方議会に与えられた国への意見書提出の権限を自ら狭めるものである。また夫婦別姓の議論は働き方や婚姻率とも関係しており地方自治体も十分当事者である。多様な価値観に寛容な姿勢を次世代へ示すために、

採択すべきだと考える。

### 請願採択に反対討論

#### 船山 俊一 議員

### 理解と合意形成が重要

本請願については、その趣旨や背景にある課題を、十分理解するものである。しかし、家族の在り方や戸籍制度等に関わる極めて重要な問題であることから、今後、国民的な理解と幅広い合意形成に向けた丁寧な議論を重ねながら、慎重に判断すべきものと考え、現時点においては反対である。

### 請願とは

(議員必携より要約)

請願は、憲法で認められた国民固有の権利で、国や地方自治体が行う仕事に関係することについて、直接意見や希望を述べること。議会に対する請願は誰でも提出できるが、議員の紹介が必要。

### 請願審査とは

請願の採択は、法令上の基準はないので、委員会の自主的判断によるが、一般的には願意が妥当性を欠き、実現の可能性のないもの、あるいは町村行政なり議会の権限に属しない事項にかかるものは、不採択とするほかない。

| 採 決                |       |        |       |       |       |       |       |       |       |      |       |      |       |       |
|--------------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|
| 選択的夫婦別姓の法制化を求める請願書 | 1     | 2      | 3     | 4     | 5     | 6     | 7     | 8     | 9     | 10   | 11    | 12   | 13    | 14    |
|                    | 八巻 眞由 | 中津川かおり | 大槻 孝雄 | 金森 裕之 | 山本 明徳 | 鈴木美智子 | 大槻 正儀 | 渡辺 政巳 | 菊池 修一 | 石井 央 | 海川 正則 | 板橋 勇 | 船山 俊一 | 佐藤 吉市 |
|                    | ○     | ×      | ×     | ×     | ○     | ×     | ×     | ×     | ×     | ○    | ／     | ×    | ×     | 議長    |

○：賛成 ×：反対 ／：欠席

## 議会を傍聴して



金山地区 齋藤 照子さん

数十年前ぶりに傍聴にきました。議員の質問と町長の答弁はわかりやすく、金山工場団地の話も勉強になりました。最近の地震は短時間ではあったりします。



小斎地区 齋藤 謙一さん

議員からの案内があり猟友会数人で傍聴しました。私たちの要望を議員に一般質問していただき、町長から前向きな話が聞けたことは良かったです。



わたなべ まさみ  
渡辺 政巳 議員



▶ 一般質問動画

## 工場団地造成は

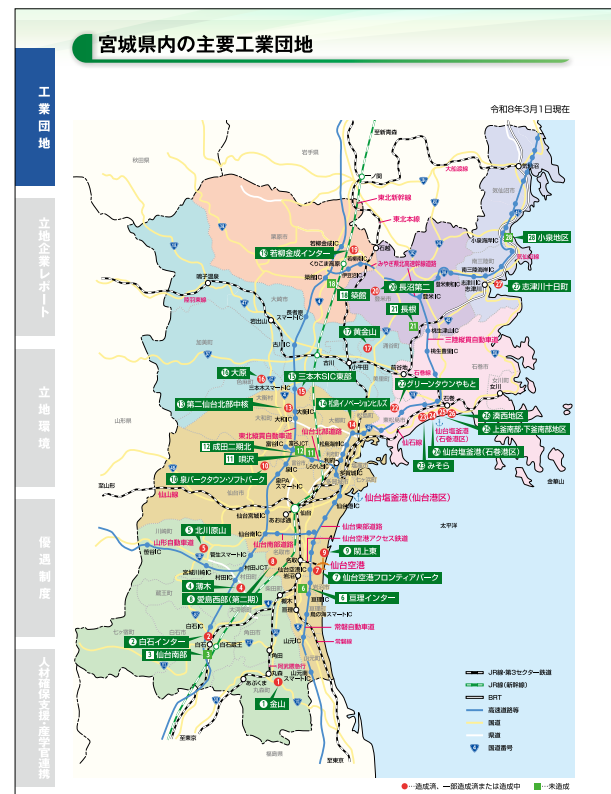
### 町長 金山工場団地は適地

**問①** 企業立地の条件はイン  
ターから30分と言われている。企業は、原料そして製  
品を運送するにはトラック  
輸送がほとんどで、企業  
ニーズを考えればインター  
に近いところが工場団地造  
成の適地と考える。  
なぜ、金山に工場団地を  
造成したのか。企業ニーズ  
をどう捉えていたのか。  
**答①** 金山工場団地造成は、  
平成26年度に実施した工場  
用地適地調査に基づき県内  
工業立地動向や本町の産業  
特性、開発手法や事業化へ  
の工程、さらには高速道路  
へのアクセスなど総合的に  
勘案し適地と判断し進めた。

**問②** 企業誘致に今後どのよ  
うに取り組むのか。県内各  
地に工場団地はある。どの  
ような企業進出を想定しつ  
くられたのか。金山工場団  
地の利点をどのようにPR  
していくのか。  
また、新たに工場用地基  
本計画策定事業委託料予算  
が計上された。金山工場団  
地が売れないので新たに  
くると理解していいのか。  
**答②** 製造業を重点的な誘致  
対象として造成を進めた。

今後実施される県主催の  
企業立地セミナーでも利点  
を踏まえたPRを行う。  
企業を誘致するためには  
複数の候補地を準備する必  
要があり、金山工場団地へ  
の誘致と併せて、将来にわ  
たる就業の場の確保に向け  
計画的に業務を進める。

**問③** 町内企業は新たな工場  
建設や増設したいという  
ニーズがある。町内企業の  
ニーズ、動向等を捉え、町  
が用地を準備、造成支援を  
するべきでなかったか疑問  
である。町内企業への支援  
と対策は。  
**答③** 町内企業の事業拡大を  
支援するためには企業が抱  
える課題やニーズを的確に  
把握し、柔軟に対応するこ  
とが不可欠である。これま  
で以上に県や商工会、金融  
機関等と連携し、安心して  
事業を継続できる環境づく  
りに努めていく。



宮城県内の主要工業団地 (みやぎ企業立地ガイドより)

## 一般質問 町政を問う

一般質問とは、町に対して事務の執行状況や将来に向けての考えを  
ただすものです。今回は7人の議員が質問しました。

| ページ | 議 員     | 質 問 事 項 と 回 答                     |
|-----|---------|-----------------------------------|
| 7   | 渡 辺 政 巳 | ●工場団地造成は<br>町長 金山工場団地は適地          |
| 8   | 山 本 明 徳 | ●耐震改修の促進を<br>町長 官民一体で周知する         |
| 9   | 船 山 俊 一 | ●選ばれる町への地域戦略は<br>町長 住みよいまちづくりを進める |
| 10  | 板 橋 勇   | ●丸森病院の今後は<br>町長 新院長の下改革に取り組む      |
| 11  | 大 槻 正 儀 | ●地区の誇りに再注力を<br>町長 地区への愛着高める       |
| 12  | 石 井 央   | ●自主財源の拡大策は<br>町長 企業誘致とふるさと納税拡大    |
| 13  | 大 槻 孝 雄 | ●クマ対策、猟友会支援は<br>町長 万全な体制を整える      |



### 次の議会は

**9月2日(水)午前10時** 開会予定

●日程が変更になる場合があります。

問い合わせ先 議会事務局  
☎0224-72-3038



### スマホで議会が見られます

本会議の映像をネットで  
**ライブ中継**しています

●一般質問は過去の映像を  
常に視聴できます。



# 選ばれる町への地域戦略は

## 町長 住みよいまちづくりを進める



ふなやま しゅんいち  
船山 俊一 議員



一般質問動画

**問①**人口減少が進行する中、地域の稼ぐ力を高め、持続可能なまちづくりにつなげるため、今後どのような施策を展開していくのか。

**答①**町内の観光資源を周遊する滞在型観光を進め、交流人口、関係人口の拡大と

本町は今、人口減少と少子高齢化により、地域経済、医療、介護、子育て、教育、行政運営などにおいて、新たな対応が求められ、大きな転換期を迎えている。そこで、住んでみたい、戻りたい、関わりたいと思える、選ばれる町の実現に向け、町長の見解を問う。

**問②**医療や介護、福祉が連携した地域包括ケア体制の充実と介護予防を通して、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、どのような施策を講じていくのか。

**答②**地域包括ケアシステムの深化を図り、介護人材の確保や認知症施策推進計画を他の保険事業計画と一体的に策定し進めていく。

**問③**少子化と激化する自治体間競争の中、本町ならではの教育や子育て支援の充実を図り、若い世代から選ばれる町を目指して、今後どう取り組んでいくのか。

**答③**子育て世代への切れ目のない支援と学力向上に力を注ぐとともに、ふるさと教育やコミュニティ・スクールの導入など、特色ある教育を目指し、さらなる環境の充実を図っていく。



ラプラス号の就航により、観光誘客と地域経済活性化に期待

**問④**将来にわたり持続可能な地域づくりを進めるため、公共施設のあり方や生活機能の維持を含め、人口減少時代に対応したコンパクトなまちづくりの方向性について、見解を問う。

**答④**公共施設の効率的な配置を進める一方、病院通院などの移動手段の確保や買い物支援の充実等を図り、安心して住み続けられるまちづくりを進めていく。

# 耐震改修の促進を

## 町長 官民一体で周知する



やまもと あきのり  
山本 明德 議員



一般質問動画

令和6年元旦に起こった能登半島地震では多くの住宅が被害を受けた。耐震基準を満たしていない建物の下敷きとなり多くの人命が失われた。

こういった現状を踏まえ、町では新たな耐震改修促進計画を定めた。住宅の耐震化を促進する立場で提案を含め町長に質問する。

**問①**本町の耐震化の現状と課題は何か。

**答①**空き家を除く住宅数4418戸のうち、耐震性が不十分とされる住宅は1653戸、約37%である。これまで23年間で耐震診

断した住宅は46戸で、改修工事を実施した住宅は6戸のみで耐震診断から改修工事へつながっていない。その理由は、高額な費用がかかることと住居者の高齢化や後継者がいないことが要因と考える。

**問②**令和8年度から新たな耐震化改修の支援を拡大した。どのような内容か。

**答②**これまでは、改修支援事業の助成が昭和56年以前に建てられた木造住宅に限っていたが、平成12年までに建てられた住宅まで助成対象に拡大した。また、改修補助金を100万円から115万円へ引き上げた。

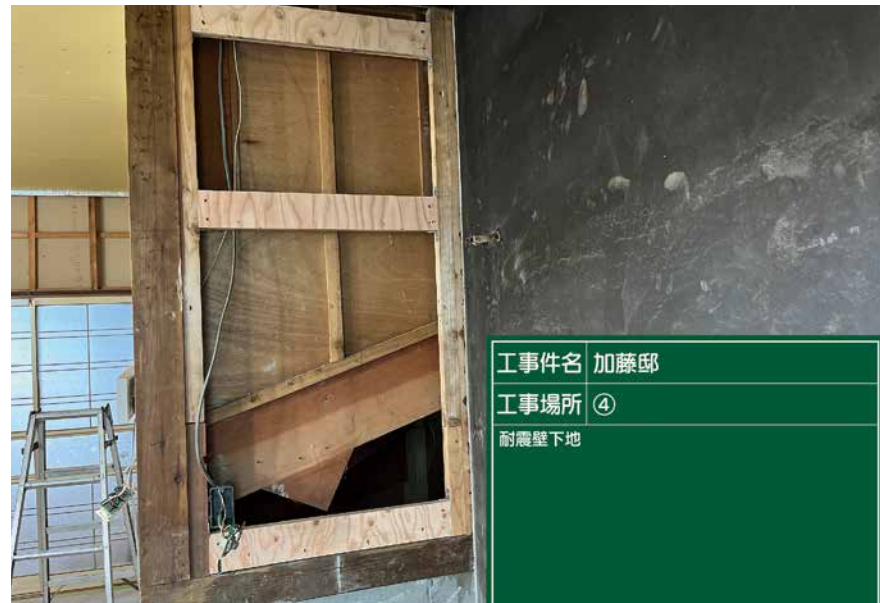
**問③**耐震改修率を令和12年度末までの5年間で96%にするという目標だが、耐震診断数を大幅に増やすには診断費用経費の補助率アップが必要と考えるがどうか。

**答③**診断費用15万8000円のうち自己負担8400円は、十分な支援であると考

える。

**問④**改修費代理受領制度や高齢者へ配慮した改修費用融資制度を導入し、意欲喚起を図ってはどうか。

**答④**広報に努めてきたが認知度が不十分である。今後、耐震改修制度の認知度を高めるために、施工業者からも積極的な提案や案内がされるよう働きかけていく。



只今耐震改修中 耐震補強で安心安全な住まいに

# 地区の誇りに再注力を

## 町長 地区への愛着高める



おおつき まさよし  
大槻 正儀 議員



一般質問動画

**問①**各地区には、住民や町が誇れる小斎の奉射祭、立石などの伝統行事や名所旧跡景勝地がある。住民がまちづくり交付金や謝金等を活用し、存続活動をしているが、厳しさが増している。町は、地区住民のシビックプライド※の高揚を行うべきと考えるがいかがか。

**答①**療養病床の稼働率は年々低下傾向にあることから、経営上の観点からも削減は止むを得ないものと考えている。

## 町長 新院長の下改革に取り組む



いたばし いさむ  
板橋 勇 議員



一般質問動画

第8代丸森病院の院長が4月に着任した。非常に厳しい経営環境の下でその手腕に大きく期待したい。

**問①**令和8年3月議会で2階の療養病床を20床に減らし、3階の病床数減も要望した。また、町議会や町民へ病院改革策を説明する機会を要望した。検討結果を問う。

**問②**令和7年度の補正予算書によれば繰出金合計が、5億3千万円で、欠損金が3億円程であるが町長の見解を問う。

**答②**一般会計からの繰入額3億3千万円を目標に、少しでも減額できるよう一層経営改善に取り組んで行く。

**問③**7年度の国の経済対策交付額はいくらか。

**答③**賃上げ物価上昇に対する支援として2255万円の補助金交付を受けた。

病床数の適正化に対する支援策は現状では補助金対象とならないため、今後活用できる時期が来たら制度の有無を確認しながら確保できるよう対応したい。

**問④**病院を真に町民病院として残す覚悟として、議会議員をはじめ町民の協力をもらい、賛意いただける方から金額の多少に関係なく資金を提供していただくことを提言するがどうか。

**答④**町民のため、何とか丸森病院を存続させたいと思う温かい提案と理解するが、まずは、新院長の下での病院改革により体制を整えていくよう努力したい。



佐藤晃彦院長による腹部エコー検査

**問③**雨や降雪のたびに、竹や雑木が曲がり、交通障害となるが、人手不足により機械による除去作業に迫られている。町は機械の所有貸出をする考えはあるか。

**答③**道路愛護会の活動助成費は令和7年度から増額している。根本的な課題解消については、今年度中に愛

護会との協議を行う。機械導入は、筆甫地区の効果を参考に検討する。

※シビックプライドとは  
地域への誇りと愛情を表す言葉で、自分が暮らす地域をより良くしていこうという想いや意思を表現したもの。



今年もみんなで環境美化（旧大張小）

# クマ対策、猟友会支援は

## 町長 万全な体制を整える



おおつき たかお 議員  
大槻 孝雄



一般質問動画

**問①** 全国的にクマによる被害が相次ぐ中、本町においては令和7年度33件の目撃情報がありクマ一頭が緊急銃猟された。このほか、イノシシ958頭、サル37頭が捕獲された。  
農作物の被害が最小限に抑えられ、猟友会の役割は益々重要になっている。  
クマ対策と猟友会について町長に問う。

**答①** 駆除活動への支援策の

**問②** 令和8年度本格化するクラブ活動の地域展開について、町内小中学校、児童生徒の現況、今後の町の地域展開について具体的に取り組み策を問う。

**答②** 令和8年度本格化するクラブ活動の地域展開とは、これまで学校が主体となっていた部活動を地域での活動としていくことで選択肢の拡大や、より専門的な指導機会の確保、将来にわたり活動を継続でき

**問③** クマ被害が出る前に、学校や各地区で講習会や訓練を行う考えは。また無人駅において忌避音設備を、阿武隈急行株式会社に要請してはどうか。

**答③** クマ対策の専門家に動画作成を委託し、地域や学校で動画を活用して意識の醸成を図る。無人駅への忌避音設置は沿線自治体や関係機関の意見を聞く。

**問④** 人件費や物価高騰の中、有害鳥獣駆除期間中の報奨



新しく購入されたクマ檻2基

金と減容施設管理費を増額する考えは。

**答④** 捕獲謝金の増額は仙南自治体と協議していく。減容施設管理に係る謝金は、増額の方で現在駆除隊と協議を進めている。

**問⑤** ハクビシン、タヌキ、アライグマも町の有害駆除対象にしては。

**答⑤** ハクビシン、タヌキは町、アライグマは県の許可を得て個人で対応してほしい。

# 自主財源の拡大策は

## 町長 企業誘致とふるさと納税拡大



いしひ 議員  
石井 央



一般質問動画

**問①** 町は第六次丸森町総合計画実施計画、町過疎地域持続的発展計画を令和8年3月に策定した。着実に実施され、成果が期待される。計画中最重要な柱は、行政経営、自主財源の確保、町税、ふるさと納税の拡大策に取り組み覚悟にある。町長はかつて、入りを量り出ずるを制すと話している。自主財源の拡大策について具体的戦略を問う。

**答①** 自主財源の確保は、重要課題のひとつであり、企業誘致が最も有効な施策である。金山工場団地への企業誘致を早期に実現することにより税収の増額だけで

なく、町民の雇用創出や所得の向上、さらには移住定住にも繋がると考える。これまで以上に積極的に企業誘致に取り組みとともに新たな工場団地の整備に向けた適地の選定も検討する。  
ふるさと納税は、受入額の拡大を目指し、さまざまな取り組みを実施している。返礼品の充実を図るため、畜産の産地として肉類のラインナップを増やし、仙台牛や牛タンを新たな返礼品として提供できるよう、準備を進める。



ナイスシュート！

環境を整えることを目的とした取り組みである。学校数や部員数の減少が進むなか、活動内容の見直しが必要である。町の実情に即した地域展開を模索し、生徒が個性を発揮できる仕組みを検討していく。

# 議会の要望に町長が回答しました

## 令和8年度予算審査を通した議会要望への回答

### 自主財源確保

**要望** 自主財源確保のため、引き続き収納率の向上を図るとともに、ふるさと納税寄付額の拡大に努めること。

**回答** 多様な納付方法の周知を行い、納税者の利便性を高め収納率の向上を図っていく。また、ふるさと納税の返礼品の充実を図り、PRに力を入れ、寄付額の拡大に努めていく。

### 町民広場公園の整備

**要望** 町民広場公園の整備は保護者からも要望が多い。内容を十分検討して、町民や子育て世帯に愛される公園を目指すこと。

**回答** こどもの遊び場として、遊び方が広がる大型遊具の設置や町公式キャラクターを活用したデザインなど、町民から親しまれる公園の整備を進める。

### 温暖化対策

**要望** ゼロカーボンシティの実現には、町民の協力が必要である。実効性のある計画を策定し、町民の理解を深め取り組むこと。

**回答** 温室効果ガス削減を図るため、「区域施策編」の策定に着手する。町民や事業者から意見を聞き、実効性のある計画づくりを進め、実現に取り組む。

### 移住定住と出生率向上

**要望** 移住定住促進のため受け入れ態勢を整備するとともに、出生率の向上のため、安心して子どもを産み育てられる環境を整備すること。

**回答** 移住体験ツアーの実施、移住希望者のニーズに応じたきめ細かな取組を行うとともに、子育て支援については各種助成制度や相談支援を強化していく。

### 観光誘客

**要望** 斎理屋敷や八雄館等を核とした賑わいの創出と、歴史的景観を活かした街並み整備を推進し、観光誘客と地域経済活性化を図ること。

**回答** 斎理屋敷を含めた周辺整備プロジェクトを推進し、宮城オルレ丸森コースや、まるもりみずべパークとの相乗効果で活性化を図る。

### 特産品の開発

**要望** 特産品の開発支援にとどまらず、ふるさと納税制度と連携できる規模の生産販売額を目指す経営体になるよう育成支援すること。

**回答** 納税返礼品を目指した特産品開発が可能となるよう経営体の育成支援と、併せて、地域資源を活かした特産品の多商品化と販路拡大を推進する。

### 仕様書を早急に整備

**要望** 学校給食センターの食材購入は、仕様書を早急に整備するとともに、安全で質の良い食材を使った給食を子どもたちに提供できるよう努めること。

**回答** 食材購入に係るわかりやすい仕様書を早急に整備し、発注者と受注者の共通理解を図り、今後もより質の高い給食の提供に努める。

### 丸森病院の経営改善

**要望** 丸森病院は町民の命の砦である。新院長の下、町民が安心できる医療の提供と更なる経営改善に努めること。

**回答** 住民が安心して暮らせるよう地域に求められる医療提供体制の確保に取り組んできた。直面する経営課題解決のために病院改革を進め、持続可能な体制を整える。

### 若者定住促進住宅

**要望** 若者定住促進住宅は、対象となる世帯のニーズを十分理解し、定住促進の核となるよう実施設計を行うこと。

**回答** 本町の将来を担う若い世代の定住を後押しする重要な施策である。限られた財源の中で若者、子育て世帯のニーズに配慮した住宅の実施設計を行う。



ねこがみふれあいタイム（斎理屋敷あぐだもぐだいち）



いつもおいしい学校給食を



来てね丸森へ移住定住



## まち活性化につなげたい

大内地区

農産加工業 阿部 隆弘さん

家業の農産加工業を営み、一般社団法人あずだすの副代表理事と事務局長を兼務している阿部隆弘さんにお話を伺いました。

Q どんな想いで家業を継いだのでしょうか。

A 農産加工に興味を持っていました。小規模でしたが母が自宅で作っている梅干しを町内外の方に食べてもらいたいと考え、製造技術を引き継ぎ平成26年から私が中心となり家業として力を入れています。

Q 猛暑などで梅の収穫に影響はありますか。

A 気候変動による猛暑や遅霜などで収穫量が左右されます。梅の木は自宅以外にもあり、影響は町内で差があるので加工に必要な

収穫量は確保できている状況です。

Q 一般社団法人あずだすで、いきいき交流センター大内の経営をされていますが、今後の取り組みは。

A 地域のさらなる交流の場として、また、町内外からもっともっとたくさんの方に来ていただけるよう、各種イベントの継続と拡大でまち活性化につなげていきたいです。

Q 町や議会に対して、要望や意見はありますか。

A 町外から行ってみたい、暮らしてみたいと思ってもらえるようなまちづくりと町の情報発信の取り組みや、注目してもらえる議会を期待しています。

(鈴木 美智子 委員長)

## 表紙のことば

目黒 剛史さん  
(大内地区)

大内地区にある七夕という地名の由来を話しながら、今年も家族みんなで短冊に願いごとを書きました。

こうして親になってみると、子どもたちが健康に成長してくれることが何よりの願いです。

## 丸森町議会からのお知らせ

丸森町議会議員大槻正儀氏から、令和8年7月2日付けで辞職願が議長あてに提出されました。

地方自治法の規定に基づき、同日付けで議長において議員を辞職することについて許可しましたので、お知らせいたします。

訃報  
海川 正則 議員

本町議会議員の海川正則氏が去る7月4日、逝去されました。享年81歳でした。

海川議員は、平成7年の町議会議員選挙で初当選され、8期にわたり、精力的に議員活動を展開されました。

また、在任中は議長や議会運営委員会委員長も務められました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



## 議会広報常任委員会

|      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 鈴木美智子  |
| 副委員長 | 山本 明徳  |
| 委員   | 八巻 眞由  |
|      | 中津川 あり |
|      | 大槻 孝雄  |
|      | 金森 裕之  |